

MISSION

その1

心得よう!

ファザーリングの
極意

知っている子育てがぐんと楽しくなる!
「父親であることを楽しむためのコツ」とは?
これら6つの極意を心がけることで、これから始まる
「父親」としての毎日が確実に楽しくなるぞ!



講師：安藤 哲也
あんどぅ てつや

NPO法人ファザーリング・ジャパン副代表、厚生労働省「イクメンプロジェクト」座長。出版社、書店、IT企業など9回の転職を経て、NPO法人ファザーリング・ジャパンを設立。「パパ絵本プロジェクト」メンバー、内閣府「ゼロから考える少子化プロジェクトチーム」、子育て応援とうきょう会議共同代表を務める。「パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方～」(NHK出版)他、著書多数。

1 父親になったら
OSを入れ替えよう!

パソコンは、新しいソフトを導入しても、それに対応していない古いバージョンのOSのまま立ち上げてしまうとフリーズする。これは育児でも同じ! まずは自分の中のOSを、「パパOS」に入れ替えよう。

4 子育てパパは
仕事もデキル!

育児をすることで、仕事とのバランスを保つための「時間管理」と「リスクマネジメント」、さらには家族との「コミュニケーション力」の3つの能力がUPする。育児に主体的に関われば学びも大きく、仕事に好影響をもたらすこと間違いなし!

5 パートナーシップ
(夫婦の絆)の構築!

子どもが生まれてから夫婦関係が悪化したというのはよくある話。新たな関係性の構築が必要だ。夫婦だからと言って、妻の人生は、「夫のもの」ではない。お互いが尊重しあい、より良い関係を築いていくことが育児を楽しむ大切なポイント。

2 育児は
義務ではなく、
楽しい権利!

仕事も育児も、義務だと思いながらやっていたらつまらない。パパの役割・居場所をつくり、我が家をアウェイ(敵地)ではなく、帰りたくなるホームにしよう。義務だと思うから「サービス」という認識が生まれるのだ。さらば「家族サービス」!

3 朝時間で勝負!
男の育児は
質より量!

「週末だけのパパ」では育児スキルは磨かれない。平日会社からの帰宅が遅くても、朝の時間をフル活用。うんちのおむつ替えも逃げないこと! 妻の負担を軽減し、育児の「イイトコドリ」をしないようにしよう。

6 シチズンシップを
獲得しよう!

子どもは地域社会へのパスポート。子育てをきっかけにして地域活動デビューするパパは多い。地元社会にはいろいろな課題がある。我が子のため、地域の未来のために立ち上がれ!



父親が変われば、
家庭が変わる、
地域が変わる、
企業が変わる、
そして、社会が変わる。

by Fathering Japan

ひとまずOSを
入れ替えて
バージョンアップ!
さあ、
次に進もう!

